



2025年度全国安全週間・活動方針

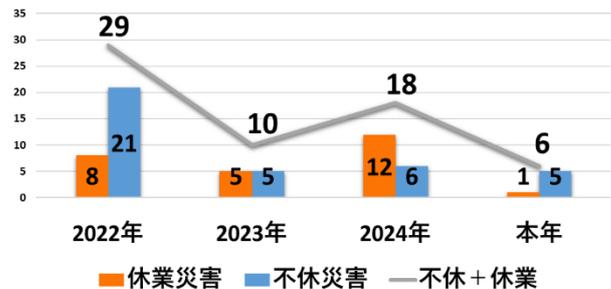
期間：2025年7月1日～7日（準備期間：2025年6月1日～30日）

1. はじめに

ご安全に！

6月1日より全国安全週間の準備期間が始まります。足下の災害件数は、休業が1件、不休5件と、直近3年と比較し、大幅に改善しています。これは、皆さんの積極的な安全コミュニケーションや過去災害事例の活用などにより、作業に携わる全員の安全意識が向上し、また、着実な安全対策がなされているからだと考えます。本年後半も、引き続き、安全意識を全員で高め、災害撲滅を目指しましょう。

5月時点での災害件数（5/15時点）



【本年の災害一覧】

No.	区分	月日	箇所	概要	主な原因
1	休業	1/16	〈プラント〉	第2君津：圧送ホースを移動するため足場下部に入った際、根がらみパイプに踏み、差し筋に左目付近を当て被災	不適切な作業ルート（作業間調整不足）
2	不休	2/15	〈プラント〉	千葉市新清掃工場：右手で充電式パワーツールを持ち、寸切ボルトの余長を切断しようとした際、工具が跳ね刃で左手小指を切創	不適切な工具使用
3	不休	2/28	〈NSES〉	糸島事業所：ホパカリが突き作業中、突き治具のスタックと取り外したパイプに指をぶつけ被災	作業スペース未確保
4	不休	3/3	〈プラント〉	千葉市新清掃工場：足場の梯子を昇る際、踏み棧を掴み損ね、地面に着地後、後方へ転倒し左膝を負傷	注意不足
5	不休	5/10	〈プラント〉	千葉市新清掃工場：滑車とロープを使用してコンテナを上架中、ロープ連結部が解けバルブが落下し左手人差し指を被災	注意不足
6	不休	5/15	〈プラント〉	第2君津：ヤードで鉄骨柱部材の建て起こし後、当該柱から落下したキャッチクランプが左腕に当たり被災	取り外し忘れ

2. 全国安全週間活動の基本方針

本年前半の災害事例を振り返ると、作業変更・非定常作業時の「安全対策・安全確認」の安全配慮不足が主たる原因であると考えられます。

従い、本年後半の災害撲滅に向け、以下の3点を全国安全週間活動の基本方針とします。

- ① 今年前半での良好な安全成績に繋がった取組み（過去災害の活用、教育）を継続する
- ② ライン管理者・店社安全スタッフ、作業所長、各協力会社が安全コミュニケーションをより一層図ることで、もう一段高い安全管理を推進する
- ③ 類似災害事例を活用し、特に、作業変更・非定常作業時における管理者・作業員それぞれの立場での安全意識（計画、RA、KY、安全確認）を向上させる

3. 重点活動事項

(1) 安全マネジメントの強化と再発防止対策の確実な実行と点検

- ① 現場管理者は作業手順を周知徹底し、実行時はKY内容の順守状況を含め手順を自ら現地で確認
- ② 安全コミュニケーション（対話・寄り添い・思いやり）を通じた安全管理マネジメントの推進
- ③ 「今日の過去災害」や「過去災害データベース(SAGUR)」を活用した類似災害の再発防止

(2) 危険源に対する安全対策と現場作業環境・安全作業状況の確認（作業変更時・非定常作業時含む）

- ① 墜落・転落防止措置のない開口部の撲滅、安全設備・装置（足場・親綱など）の確実な設置
- ② 可動物（重機・回転体など）との接触防止措置状況（立入禁止、保護カバーなど）の確認
- ③ 狭隘部、ピット内などでの酸欠、有機溶剤等の有害物質による中毒災害の防止

(3) 熱中症対策の強化（法改正施行6月1日：安衛則第612の2）

- ① 作業環境管理（WBGT値低減など）、作業管理（水分・塩分の摂取など）の徹底
- ② 熱中症の重篤化防止（熱中症防止教育、熱中症のおそれのある者の発見と適切な対処）